

あじさい Vol.14

〒650-0013 神戸市中央区花隈町33番19号 Tel.(078)351-0657(代表) http://www.kobe-kango.ac.jp/



平成29年度日本看護学校協議会 教務主任養成講習会を終えて

教務主任 迫田 貴子

超少子高齢社会・多死社会の到来、ICTやAIの発展、地域包括ケアの推進、地域医療構想を踏まえた病床機能への分化など社会の大きな変化に直面している中、看護職員の役割は今後益々重要となります。それとともに、多様化していく看護の場、役割を担う看護専門職の質の向上が求められ、看護基礎教育の果たす役割は非常に大きいといえます。

平成29年度日本看護学校協議会教務主任養成講習会に6月1日より3月23日まで参加し、教務主任の役割遂行に必要とされる内容について学ぶ機会を得ました。講習会は、看護教育における教育課程の開発、運営能力を養うとともに、看護教員に対する指導的役割を果たす能力を磨き、看護学校経営を推進する能力を啓発することを目的として開催されています。昨年は大阪で開催され、北は北海道から南は鹿児島県まで全国から集まった222名の教務主任、後の教務主任候補者が学校での教員業務と平行しながら講習会に参加していました。講習会では、社会の動向からこれから求められる看護専門職者を養成するための教育課程開発、学校運営能力の向上に向けて課題の抽出や課題解決に向けて取り組んでいきました。地域包括ケアが推進され、看護専門職者は、様々な課題に対応できるより高い能力が求められる中、看護系大学が増設し、看護専門学校における教育年限を4年にする必要性が問われています。看護基礎教育を取り巻く環境は大きく変化しており、学校運営の課題として、高等学校新卒者の大学志向化していき、新卒者の専門学校入学志願者の減少が考えられ、今後、学校運営していくにあたり、運営上の課題を明確にし、現状の課題解決のための対策が必要となります。本校においては、厚生労働大臣による専門実践教育訓練講座の認可を受け、社会人を積極的に受け入れてい

ることで、現在のところ、入学志願者数は維持できています。しかし、看護系大学への社会人入学志願者も増えてくることが予測され、安定した運営の維持を図るために、各校の魅力やどうアピールし、入学者の確保に繋げていくかが課題となります。本校で取り組んでいる未来教育プロジェクト学習、縦割りのピアサポート体制、2年前より取り組んでいるICT活用による教育活動をさらに充実させ、医療を取り巻く社会の変化に対応できる、主体的に行動できる看護師の育成を今後目指していきたいと思っております。そして、国家試験100%合格、民間病院、実習病院の就職率の向上、学生の入学後、卒業後もこの学校に入學してよかったと思える学校運営ができるよう教職員が一丸となって取り組める組織づくりをしていきたいと思っております。

近年、入学してくる学生も多様化しており、社会人経験者が6割以上で年齢層が幅広く、入学までの教育課程は様々で、基礎学力、社会人基礎力にも差異があり、教員の教育力の向上が求められます。また、専門学校においては、大学と比べると教員の数や教員の専門分野だけの担当に限らないことなど課題があり、教員のモチベーションの維持向上を図ることが必要となります。その現状を考慮し、看護教員それぞれの専門分野の意見を尊重しつつ、より質の高い教育活動ができるよう研究授業、研究活動など組織的に取り組み、教員の教育力の向上を目指し、教員、学生とともに成長し続けられるようにしていきたいと思っております。

教育課程開発において、厚生労働省は「保健医療2035提言書」の中で、①量の拡大から質の改善へ②インフラ中心から患者者にとっての価値中心へ③行政による規制から当事者による規律へ④ケア中心からケア中心へ⑤発散から統合への5つの項目を2035年ま



平成30年度 入学式

平成30年4月4日入学式が執り行われ、うららかな春日和の中16期生70名が看護学生としてのスタートを切りました。これからそれぞれの夢の実現に向けて、共に学び3年間の始まりです。

一ノ瀬 加代子

でに必要な保健医療のパラダイムシフトとして示されました。このことから、今後の先を見据えた看護専門職に必要とされるアセスメント能力、判断能力、看護実践能力、倫理的判断能力、コミュニケーション能力、マネジメント能力、社会人としての基礎的能力を育成するために、現カリキュラムを評価、分析し、教育内容、方法、評価のあり方について十分な検討を行う必要があります。本校の理念としている「地域に貢献できる看護師を育成するため」に、社会の動向を見据え領域横断も考慮しながら、教育課程開発を行っていきたくと考えています。日本看護協会は、2025年に向けた看護の挑戦、看護の将来ビジョン「いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護」を提唱しました。地域で生活していく住民の健康の維持・増進、疾病の治療・回復に向け、民間病院の役割はますます重要となります。今後も地域に貢献できるより優れた看護専門職者を育成していきたいと考えております。

今回教務主任養成講習会を終え、自分の使命は管理者としての能力を高め、学校運営、教育活動に尽力していくことだと改めて実感しております。今後とも皆様のご協力、ご支援よろしくお願い申し上げます。



西之原 梨花
(H30.3月卒業)

3年間の実習は長いようで短かくさんの事を学ぶことができました。1年生の初めての基礎看護学実習では患者さんとコミュニケーションをとることの難しさや、知識不足で患者さんに必要な看護が分からなくて悩んだこともありましたが、しかし、実習を重ねるごとに疾患の理解や患者さんとのコミュニケーションも出来るようになり、少しずつ看護も考えられるようになりなりました。新生児から高齢者まで幅広い患者さんと関わることで個性のある看護の大切さを実感することができました。3年生になると4クールの領域別実習があり体力的にも精神的にも大変な時期もありましたが、その時はグループのメンバーと支えあい、教員の先生からも支えてもらってことで実習を乗り越えられま

3年間の実習を終えて



濱崎 理沙
(H30.3月卒業)

した。一人の患者さんに時間をかけて関わることで看護の楽しさや難しさも学ぶ事ができ、これからの看護にも活かして行きたいです。

3年間を通して、たくさんの領域の実習へ行き、多くの学びを得ましたが、特に終末期の実習は私にとって忘れられない実習となりました。受けもたせて頂いた患者様は予後1ヶ月の末期癌であり、コミュニケーションをとることも難しい状態でした。清拭を行うときの少しの体動でも疼痛による苦痛が強くなり、技術が未熟な学生が受け持つことで患者様にとって苦痛でしかないのではないかと悩んだこともありましたが、しかし、行った看護を繰り返してリフレクションしていくことで患者様の笑顔や学生の顔を撫でてくれるなどの行動がみられ、患者様のために生懸命行った看護や思いは伝わるといふことを実感しました。これから臨床に出て忙しい業務に追われる日々になると思いますが、患者様一人ひとりしっかりと向き合い看護が行えるよう努力していきたいと思っております。

学内演習

3年生 卒業前演習

初めての採血にとても緊張しました。

1年生 リネン交換

患者さんにとって心地のよいベッドを整えることは看護の基本です。

2年生 自己血糖測定の演習

毎日測定する患者さんの気持ちが理解できました。

3年生

ケーススタディ発表会

これまでの実習での学びを論文としてまとめました。3年間の集大成です。





オープンキャンパス

平成29年8月3日・8月4日、2日間に渡ってオープンキャンパスを開催しました。午前・午後の2部制で行われ、今年は、過去最高の来校者数309名の方にお越しいただきました。模型やシミュレーションなどの看護体験や学生のポートフォリオ学習の発表などが行われました。さらに今年からビブリオバトルも取り入れた充実したプログラムも開催しました。来校者からの好評なアンケート結果を得られ、大盛況でした。 三原 満代



あじさい式

9月22日15期生はあじさい式を行いました。あじさい式委員が中心となり、学生全員で作らあげ行った初めての式。ナイチンゲールから授かった灯のもと、皆が新たな気持ちで看護師となる決意を宣誓した式となりました。

川本 桂子



ナイチンゲール誓詞を15期生全員で誓ったとき、やっと自分たちの夢に近づけたと嬉しく感じました。ナイチンゲールから頂いた灯を心に宿し、それぞれの理想とする看護師像に近づけるよう進んでいくことを改めて決意しました。

15期生 児玉 亜矢

教育理念・教育目的・教育目標

教育理念

本校は兵庫県下の民間病院の医療を担う看護者の育成を目的とし、医療安全に対する意識を高く持ち、自ら感じ考え行動できる専門職業人の育成を目指す。

看護はあらゆる健康状態の人々を対象とし、生涯を通してその最期までその人らしい生活を送れるように支援することである。

また、学生一人ひとりをかけがえのない存在としてとらえ、可能性を引き出し、その能力を最大限に発揮できるように支援する。

教育目的

本校は看護師に必要な基礎的知識・技術・態度を修得し、豊かな人間性を育み、倫理的価値観を形成し、兵庫県下の民間医療に貢献できる看護の実践者を育成することを目的とする。

教育目標

1. 生命の尊重と人間愛を基礎とし、相手を思いやる豊かな人間性を養う。
2. 人間を統合的に理解し、看護を必要とする対象に対して、根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。
3. 看護職としての役割と責任を認識し、保健医療福祉チームの一員として社会に貢献できる基礎的能力を養う。
4. 自らの意志で学び、よりよい看護を探究する基礎的能力を養う。



9月に水flow典義先生より不審者に対しての心構え対応の講義を受け、そして護身術を教えていただきました。皆で楽しく色々な護身術をマスターしました。
岩本 みゆき

特別講演
「不審者対応訓練」



3月8日、61名の学生が無事に卒業を迎えることが出来ました。卒業生の自信溢れる姿の前に、個々の成長を感慨深い想いで見守らせて頂きました。4月からは看護師としての道を歩んでいきます。皆が笑顔でスタートできるより祈るばかりです。
岡部 真理

平成29年度卒業証書授与式

平成30年度年間予定表

行事	
4月	入学式 就職説明会 講演会 健康診断 防火訓練 学生間交流会(全学年) 新入生歓迎会 学外研修(全学年) 未来教育プロジェクト学習
5月	卒業生カムバックディ
6月	芸術鑑賞(1年生)
8月	オープンキャンパス あじさい祭

行事	
9月	学生間交流会(全学年) あじさい式(宣誓式) 防災訓練 ピブリオバトル
11月	推薦・社会人入学試験
12月	解剖見学(1年生) 学生間交流会(全学年) 実習指導者研修会 ケーススタディ
1月	一般入学試験(一次)
2月	一般入学試験(二次) 講演会
3月	卒業証書授与式 入学前説明会 実習指導者会議 就職先教育担当者会議

あじさい 第14号
発行日 平成30年5月11日
発行所 公益社団法人神戸市民間病院協会
神戸看護専門学校
発行責任者 大西 安代
印刷所 有限会社 河里盛広館

編集後記

春は別れの季節であり、新しい出会いの季節でもあります。遅く成長した三年生が卒業し、新たに16期生70名の新入生を迎え、新年度がスタートしました。これからの学校生活や様々な学校行事を通して、学生が看護の楽しさやすばらしさを感じながら学んでいけるように、教職員一同協力し支援していきたいと思えます。これからこの「あじさい」が、皆様にたくさんのお情報を提供することができるよう、努めていきたいと思えます。

鶴谷 由紀

第107回 看護師国家試験合格率

国家試験合格率	
全国平均 (新卒者)	本校
96.3%	98.4%

